

議会だより

議長が代わりました

去る1月31日に新関善三議長から、一身上の都合により議長職の辞職願が提出され、2月4日の臨時会で辞職が許可されました。これを受け議長選挙の結果、佐藤喜三郎議員が議長に就任しました。

議長辞任の
ごあいさつ

新関 善三

一昨年の11月に執行されました町議会議員選挙後の議会におきまして、不肖私が議員の皆様からの推挙により議長の要職につき1年3カ月余りが経過いたしました。

東日本大震災、原発事故からの復旧・復興に向けて、町民皆様の要請に応えるためには格段の努力を要するものであり、私はその重要性を深く認識し、議会運営に専念し、そのご厚志に報いる覚悟であります。

りましたが、この度、一身上の都合により議長を辞任させて頂くことになり、率直にお詫びするものであります。今後とも、この未曾有の危機を乗り越えるべく、一議員として誠心誠意努力を傾注いたします所存です。

一部事務組合議会議員の変更

- 川俣方部衛生処理組合
新関 善三議員 → 佐藤喜三郎議員
- 福島地方水道用水供給企業団
新関 善三議員 → 佐藤喜三郎議員

議長就任の
ごあいさつ

佐藤 喜三郎

平成23年11月の選挙で選ばれた16人の議員で構成する川俣町議会も、原発事故による放射性物質汚染によって避難生活を強いられて久しい山木屋地区の皆さんの帰還や生活再建、町民全体の健康管理や食の安全、除染事業、そして町の復旧、復興の取り組みなど、重大

問題に遭遇し、課題を抱えながら24年度の年度末を迎えようとしています。

このような大事な時期に、新関善三前議長の突然の辞職があり、2月4日の臨時議会において私が後任議長に選任され、その重責を担うことになりました。昭和の市町村合併以

来58年の歴史を刻んだ川俣町の存続と、原発事故被害からの復旧、復興を遂げるために、私たちは今こそ一丸となつて力を尽くさなければなりません。

私は前に務めさせていただきました経験を活かして、議会に与えられた使命を果たしてまいりたいと存じます。町民皆様のご指導、ご協力を切にお願い申し上げます。就任にあたってのあいさつとさせていただきます。

議長選挙の結果

佐藤	喜三郎	7票
遠藤	宗弘	7票
	白票	2票

※得票数が同数のため、公職選挙法の規定により「くじ」によって当選人を決定することになり、その結果佐藤喜三郎議員が議長に当選しました。

補正予算を可決!

国・県道の除染に8億1,400万円

2月4日に臨時会が開催され、条例の制定及び改正のほか、補正予算が提案され、今年度除染を進めている5地区内の国・県道の除染や町道の災害復旧工事、除雪作業委託料などについて審議のうえ、全て原案のとおり可決しました。

予算の補正

●一般会計補正予算 (第8号)

質問

現在、町民は中央公民館が使えなくて大変困っている。そのような中で、新庁舎の建設工事設計業務委託料が、今回の補正予算で減額されるなど、どんどん先送りされている。町当局はそれについて一体どのように考えているのか。

(遠藤宗弘議員)

答

新庁舎建設については、もっとしっかり議論すべきとの声もありますので、一度予算を減額し、基本構想をしっかりと固めたうえで進めていきたいと考えています。

(古川町長)

質問

復興事業について、町長はスピーディにタイムリーに進めていくと言っているが、そのとおり進んでいないのが現状だと思う。今後、町は一体何を復興事業として考えているのか。

(高橋道弘議員)

答

復興住宅の建設について現在、復興交付金を得る前に進めているところですが、また西部工業団地の開発についても、復興交付金が該当になるよう要望しているところであり、その他の事業についても、該当になるものについては整理して申請するつもりです。

(古川町長)

質問

震災から間もなく2年が過ぎようとしているが、一体いつまで仮設住宅での暮らしを余儀なくされるのか。国に対する具体的な生活再編も含めた要求はいつ行うのか。

(菅野清一議員)

答

山木屋地区の復興については、まずは除染にしっかりと取り組むことが第一であると考えますが、補償賠償の問題や山木屋地区のインフラの整備などについても同時に進めていくことでスピード感を持った対応をしていきたいと考えています。また仮設住宅については、復興住宅などの話しも出ていますが、避難されている方と同じ気持ちで取り組みます。

(古川町長)

質問

新庁舎を仮に今の場所に建設するとして、周辺の土地も含めて買収する考えはあるのか。

(黒沢敏雄議員)

答

設計の中に組み入れて、遅れることなく進めます。

(古川町長)

質問

国では西部工業団地はコストが高くて交付金が出さないと云っているそうだが、国は本気になつて町の要望を聞いているのか。

(嶋原利光議員)

答

国にはしっかりと聞いてもらっていますが、今後はより具体的な中身についてしっかりと要望して



復興住宅等の建設が予定されている旧川俣精練(株)

いくことが大切だと考えます。

(古川町長)

質問

災害復興住宅として利用する計画の川俣精練跡地には、どれ位の戸数の住宅を予定しているのか。

(村上源吉議員)

答

皆さんからの要望が多い戸建ての場合ですと、20戸程度ではないかと予想しています。

(古川町長)

条例の制定

●東京電力福島第一原子力発電所原子力災害に伴う計画的避難区域の設定による被災者に対する平成25年度川俣町町税等の減免の特例に関する条例

条例の改正

●川俣町手数料条例の一部を改正する条例